

日本跆拳道

日本テコンドー協会（以下、JTAという）が普及・指導する武道は、
21世紀を迎えた西暦2000年、河 明生（KAWA MEISEI。以下、創始者という）が、
新たに創始した日本発祥の新武道＝日本跆拳道である。

日本跆拳道の内容を記す。

我が日本跆拳道は、創始者が生存し、引き続き研究・進化している現在進行形の「生きた武道」である。
よってここに記したのは、2019年5月15日迄の内容である。

目次

一、日本跆拳道の精神

- 1、日本跆拳道七大精神

- 2、日本跆拳道の技術的目標
 - 1) 蹴美（シュウビ）
 - 2) 蹴武（シュウブ）
 - 3) フルコンタクト・テコンドー

- 3、日本跆拳道の武道教育
公共性・倫理性・道徳性の涵養を目的とする論文・小論文・作文審査の課題

二、日本跆拳道の技術

- 1、独自の蹴り技の体系美を誇る蹴武の型14種類

- 2、独自の防御及び迎撃技の体系美を誇る約束組手
 - 1) 上級蹴美約束組手 1～10番
 - 2) 中級応用約束組手 1～10番
 - 3) 初級基本約束組手 1～10番
 - 4) 創作約束組手

- 3、日本跆拳道の構え 鬪姿七龍（Tousi Seven Dragons）
- 4、独自の移動稽古
- 5、独自の組手攻撃技術
- 6、改良した蹴り技
- 7、日本跆拳道の組手防御技術と防御技

三、日本跆拳道のグッズ（すべて創始者がデザイン）

- 1、JTA黒帯道衣
- 2、JTA色帯道衣（背中マーク）
- 3、JTA協会旗
- 4、新JTA協会旗（蹴美・蹴武・フルコンタクトテコンドー）
- 5、JTAマーク
- 6、新JTAマーク（蹴美・蹴武・フルコンタクトテコンドー）

注意 創始者亡き後、空手、拳法、合気道、テコンドー等の武道団体の分裂・派閥争いが後を絶たない。争いの主たる争点は、高弟達によるヘゲモニー争いであることは疑いもない。美辞麗句を並べてはいるが、生計を立てている人々が大部分あることから本質的な目的は金である。彼らは皆例外なく「自分達が正当な流派の承継団体である」と主張している。そのため、従来、使用してきた武道技術及び道衣等の継続使用が争点になることはなかった。分裂後も、分裂前の名称や道衣を使用しながら、従前通りの当該武道技術を使用するため巻き込まれた既存の会員に害はなかった。

しかし、J T Aの場合は、事情が異なる。

日本跆拳道の精神、技術、グッズを全て一人で創造した創始者が生存しているからである。法律的な著作権・使用权・意匠権等の諸権利は、創始者に帰属している。

しかも日本跆拳道は、誕生以来20年が過ぎており、一流派としての地位を確立している。

すなわちJTAの門人及び会員の95%強は、いわゆる韓国発祥のテコンドーではなく、日本発祥の日本跆拳道を学び、創始者が許可している日本跆拳道の段位と級位を授与されている。従ってJTAでは創始者が生存中は、他の武道のように正当性の争いが生じないのである。

記

一、日本跆拳道の精神

精神美の伴わない武道は、野蛮な格闘技に過ぎない。

精神美を追求する鍛錬過程を通じて人は成長し、己を高めることが可能となる、
と創始者は考えている。

1、日本跆拳道七大精神

創始者が創造した日本跆拳道の精神は次の通りである。

日本跆拳道七大精神

我々は克己の精神を涵養すること

我々は文武両道を志すこと

我々は礼儀と信義を重んじること

我々は家族に感謝し、孝を心がけること

我々は社会に感謝し、公益を心がけること

我々は神仏を尊び、奉仕の精神を忘れざること

我々は日本跆拳道の道を全うすること

- 2、 日本跆拳道は、門人および会員が華麗で威力のある美しい蹴り技の名手になることを技術的目標にしている。

打撃系武道は数多く存在するが、技術的到達目標が不明確である。

一撃必殺は殺人を奨励するかのようで、平和を希求する現代にはまったくあわない。

また、ただ単に強くなることを目指す格闘技は、その存在そのものが虚しい。

拳銃等の武器には敵わないからである。

幕末維新时期、徳川、薩長いずれの武士も刀を捨てライフル銃に飛びついた事例を想起すべきである。

1) 蹴美 (シュウビ)

2) 蹴武 (シュウブ)

3) フルコンタクト・テコンドー

- 3、 日本跆拳道の武道教育による門人・会員への公共性・倫理性・道徳性の涵養を目的とする昇級・昇段審査における論文・小論文・作文審査の課題は次の通りである。

本課題は創始者が出題している。

上記の「日本跆拳道七大精神」にそっている。

この昇級・昇段過程での思考と執筆によって門人・会員の正義の精神美が涵養される。

正義の精神美が伴わない武道は、暴力の手段を身につけているだけの無意味な存在である、と創始者は確信している。

1) 無級・白帯 昇級課題 日本跆拳道を修練する動機付け

少年少女部課題 「日本跆拳道を学ぶこと目標」

一般部課題 「日本跆拳道入門の動機と抱負」

2) 7級・黄帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「礼儀を重んじること」

少年少女部選択課題

①小3以下「れいぎはどうしてたいせつなのでしょう」

②「儒教を日常生活のルールとして取り入れた日本人、韓国人、中国人は、人間と動物との違いの一つとして礼儀礼節をあげました。礼儀礼節を大切にしない人は、けだものと言われて軽蔑されたり、みんなから仲間はずれにされたり、差別されました。どうしてでしょうか？ 考えてみましょう」

③「いじめがどうしていけないのかを考えてみましょう」

一般部選択課題

- ①「日本テコンドー協会の道場練習では、「押忍！」や「テコン！」の代りに
お願いします！、ありがとうございました！、すみませんでした！の
三つの社会性を帯びた言葉が繰り返し使用される。
入門初期から現在までの練習過程を振り返り、礼儀礼節についての自己評価を延べよ」
- ②「昨今の礼儀礼節の衰退と凶悪・悪質犯罪との因果関係について延べよ」

3) 6級・水帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「信義を重んじること」

少年少女部選択課題

- ①小3以下「やくそくをまもることは、どうしてたいせつなのでしょう」
- ②「自分を育ててくれたり、可愛がってくれたり、お世話になった人を裏切ったり、
約束を破ると非難されます。どうしてでしょうか？ 考えてみましょう」

一般部選択課題

- ①「官庁、企業、武道団体などの信義にもとる不正や不祥事に対する所見」
- ②「師、先輩、親友、友人、後輩との信義についての自己評価を延べよ」

4) 5級・緑帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「克己の精神を涵養すること」

少年少女部選択課題

- ①小3以下「どりょくすることは、どうしてたいせつなのでしょう」
- ②「皆さんはどうして学校や塾に行き勉強するのでしょうか？
進学のための学力試験とは無縁な日本跆拳道の道場で何を学ぶべきかを考えてみましょう」

一般部選択課題

- ①女性会員限定選択課題 「現代の女性が武道・日本跆拳道を修得する意義」
- ②「克己の精神の涵養についての自己評価を延べよ」
- ③男性会員限定選択課題
「町でいきなり見ず知らずの者に殴られそうになった時、あなたはどうか対処するのか。
様々なパターンを想定し、現代社会と自己防衛についての所見を述べよ」

5) 4級・紫帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「文武両道を志すこと」

少年少女部選択課題

- ①小3以下「べんきょうも、日本跆拳道（にほんてこんど）もがんばることは、
どうしてたいせつなのでしょう」
- ②「文武両道という言葉の意味を調べ、現在の自分が文武両道なのか否かを考えてみましょう」

一般部選択課題

- ①「自己実現という概念がある。あなたは現在の自分に満足しているか。
満足している、あるいは、不満足である、
とするなら、それは何故か。文武両道についての自己評価を述べよ」

②「人生には限りがある。

限られた時間をいかに有効に使うかは幸福や充実した人生の鍵と言えよう。

幸せになれる人は、限られた時間を自由に操り、そうでない人は時間に縛られる。

文（社会人は職業）と武（日本跆拳道）の両立についての自己評価を延べよ」

6) 3級・青帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「家族に感謝し孝を心がけること」

少年少女部選択課題

①小3以下「おじいさん、おばあさん、おとうさん、おかあさん、せんせい、ともだちへの
かんしゃのきもちをもつことは、どうしてたいせつなのでしょうか」

②「動物は人間とは異なり感謝の気持ちを持ちません。

動物の世界は弱肉強食です。

たとえば、野生の群れでは強いボスから食事を取り、弱い者はその残り物を漁ります。

強いボスも歳をとって弱くなると、若くて強い者に殺されたり、群から追い出されます。

しかし、立派な人は違います。強くて立派な人は弱い人を助けます。

普通の人でも食事は子供を優先しますし、電車やバス等でお年寄りに席を譲ります。

立派な人は自分を育ててくれた家族、先生、社会等への感謝を忘れないで孝行、慈善、奉仕
を行いたいと思います。そのような心がけを持つ人は、心が豊かで尊敬されます。

感謝の気持ちについて考えてみましょう」

一般部課題

「家族に感謝し、孝を心がけることについての自己評価を述べよ」

7) 2級・赤帯 昇級課題 日本跆拳道七大精神「社会に感謝し、公益を心がけること」 同 「神仏を尊び、奉仕の精神を忘れざること」

少年少女部選択課題

①「大人も子供も、男性も女性も、頭の良い人も、身体が丈夫な人も

金持ちやプロスポーツ選手、普通の仕事をもつ人達も、人間は一人では絶対生きていけません。
だからこそ、みんなが自分に足りないところを補い助け合って生きているのです。

このように人々が、助け合って生きている集合体を社会と呼びます。

それなのに、自分を育ててくれたはずの社会に感謝しない大人を見かけます。

こういう人は<自分の力だけで成功している>と勘違いしたり

<自分や家族だけが良ければ良い>と考え、金を儲けるために悪いことを平気で行うようです。
だから毎月のニュースで報道される犯罪者が後を絶たないのではないかと思います。

こういう人間は、たとえ金をたくさん持ち、大きな家に住んでいようとも、
心は貧しい、と言えるでしょう。

昔の日本人は、こういう<ろくでもない人間>を軽蔑（けいべつ）していました。

さて皆さんは、これから大人に成って行くのですが、

社会に感謝することについてどのように考えているのでしょうか？

あなたの考えを書いて下さい。」

②「世界の多くの人々は、宗教の教えを大切にしながら生活しています。

キリスト教（カソリックやプロテスタント諸派）、イスラム教（スンニ派とシーア派）、

ヒンズー教、ユダヤ教、仏教等が有名ですが、それぞれ別々の神様や仏様等を信じており

自分が信じる宗教の教えを毎日守って生活しています。

たとえば、アメリカ合衆国は、ヨーロッパでキリスト教カソリックから宗教的弾圧を受けたキリスト教プロテスタントを信じる人々が、宗教の自由を求めて移住し建国した国です。その伝統は今でも米国に根強く残っています。

たとえば、大統領就任の宣誓は、米国建国の父・ワシントンが初代大統領就任時に宣誓した200年以上前の聖書を使用しています。米国のお金には、神様への祈りが書かれています。宗教の良い面は、死についての恐怖を減らすことであり、人間の限界を知ることであり、

＜良いことをすると天国・極楽に行ける＞と信じ、奉仕活動を人間の義務と考えることです。逆に、＜他人が見ていなくても、神様・仏様が見ている＞

＜悪いことをすると地獄に堕ちる＞と考えることから、

悪いことをしようと思いついた時の抑止力（よくしりよく）になるようです。このように宗教には良い面と悪い面があります。

日本の場合、金儲けや権力等の自分の欲望を満たすために宗教を悪用する輩（やから）が目立つので、世界に比べ宗教に対する社会的信用度が低いように思われます。

さて皆さんは、これから成長して大人に成って行くのですが、

神仏についてどのように考えているのでしょうか？
また奉仕についてどのように考えているのでしょうか？あなたの考えを書いて下さい。」

一般部課題

- ①「社会に感謝し、公益を心がけること、についての自己評価を述べよ」
- ②「神仏を尊び、奉仕の精神を忘れざること、についての自己評価を述べよ」

8) 1級・茶帯 昇段審査 論文課題

「日本跆拳道の基礎理論」

9) 初段 二段昇段審査 論文課題

「最高裁62、3、26判決（昭和59年あ第1699号）傷害致死事件（勘違い騎士道事件）について調べ、正当防衛、誤想防衛、誤想過剰防衛について論述し、日本跆拳道有段者としての所見を述べよ」

10) 二段 三段昇段審査 論文課題

「武道を生涯の道と定めた場合、その究極的目標は、死生観の涵養であると考え。とすれば宗教の長所や短所を見極め、その涵養の糧にすべきであろう。宗教と武道の共通点と異同を論述し、日本跆拳道家の現代社会での望ましいあり方についての所見を述べよ」

11) 三段以降は作成中である。

二、日本跆拳道の技術

武道の流派と言えるためには独自の技術を持たなければならない。

たとえば、空手は大小500流派存在するが、独自の型をもつ流派は5つにも満たない。

団体名称と胸のマークだけが違うだけで同じ型を使用している。

その事実が絶え間ない分裂を可能としている。

しかし、我が日本跆拳道は、独自の技術、とりわけ蹴武の型をもつ独創的な流派である。

ITFやWTFに勝るとも劣らない体系的技術を誇っている。

- 1、創始者が創造した日本跆拳道の独自の蹴武の型は14種類である。他流派とは異なり、蹴武の型は蹴り技の体系美を誇っている。

また、武道家は有事に備えてはいるが、平和を尊び、愛さなければならない。

戦争の相手は常に隣国であるが、日本跆拳道発祥国=日本は北東アジアに属している。

蹴武の型にその名を冠した偉人は、日本、韓国、中国の普遍的な偉人達である。

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1) 南洲 (ナンシュウ) | 前蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 2) 青淵 (セイエン) | 回し蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 3) 龍馬 (リョウマ) | 横蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 4) 武蔵 (ムサシ) | 後ろ横蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 5) 謙信 (ケンシン) | 後ろ回し蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 6) 清衡 (キヨヒラ) | 捻り蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 7) 義家 (ヨシイエ) | 踵落とし蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 8) 柳韓 (ユーハン) | 飛び踵落とし蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 9) 忠武 (チュウム) | 飛び捻り蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 10) 若光 (ジャッコウ) | 飛び後ろ回し蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 11) 乙支 (ウルチ) | 飛び後ろ横蹴りの型 | 動作表 / 動画 |

- | | | | |
|-----|-------------|----------|----------|
| 12) | 関羽 (カンウ) | 飛び横蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 13) | 張良 (チョウリョウ) | 飛び回し蹴りの型 | 動作表 / 動画 |
| 14) | 聖徳 (ショウトク) | 飛び前蹴りの型 | 動作表 / 動画 |

2、 創始者が創造した日本跆拳道の独自の約束組手は、次の通りである。他流派とは異なり、

日本跆拳道の約束組手は防御及び迎撃技の体系美を誇っている。

1) 上級蹴美約束組手

- | | | |
|---|-------------|----------|
| ① | 上級蹴美約束組手1番 | 動作表 / 動画 |
| ② | 上級蹴美約束組手2番 | 動作表 / 動画 |
| ③ | 上級蹴美約束組手3番 | 動作表 / 動画 |
| ④ | 上級蹴美約束組手4番 | 動作表 / 動画 |
| ⑤ | 上級蹴美約束組手5番 | 動作表 / 動画 |
| ⑥ | 上級蹴美約束組手6番 | 動作表 / 動画 |
| ⑦ | 上級蹴美約束組手7番 | 動作表 / 動画 |
| ⑧ | 上級蹴美約束組手8番 | 動作表 / 動画 |
| ⑨ | 上級蹴美約束組手9番 | 動作表 / 動画 |
| ⑩ | 上級蹴美約束組手10番 | 動作表 / 動画 |

2) 中級応用約束組手

- | | | |
|---|------------|----------|
| ① | 中級応用約束組手1番 | 動作表 / 動画 |
|---|------------|----------|

② 中級応用約束組手 2 番	動作表 / 動画
③ 中級応用約束組手 3 番	動作表 / 動画
④ 中級応用約束組手 4 番	動作表 / 動画
⑤ 中級応用約束組手 5 番	動作表 / 動画
⑥ 中級応用約束組手 6 番	動作表 / 動画
⑦ 中級応用約束組手 7 番	動作表 / 動画
⑧ 中級応用約束組手 8 番	動作表 / 動画
⑨ 中級応用約束組手 9 番	動作表 / 動画
⑩ 中級応用約束組手 10 番	動作表 / 動画

3) 初級基本約束組手

① 初級基本約束組手 1 番	動作表 / 動画
② 初級基本約束組手 2 番	動作表 / 動画
③ 初級基本約束組手 3 番	動作表 / 動画
④ 初級基本約束組手 4 番	動作表 / 動画
⑤ 初級基本約束組手 5 番	動作表 / 動画
⑥ 初級基本約束組手 6 番	動作表 / 動画
⑦ 初級基本約束組手 7 番	動作表 / 動画
⑧ 初級基本約束組手 8 番	動作表 / 動画
⑨ 初級基本約束組手 9 番	動作表 / 動画

4) 昇段審査時における創作組手概念

3、創始者が創造した日本跆拳道の構えは次の通りである。

日本跆拳道の構え
鬪姿七龍 (Tousi Seven Dragons)

1) 基本の構え

侍姿 (シシ、sisi) ・ 臥龍 (ガリュウ、garyuu)

画像

解説 両手拳は縦拳、両肘を肩幅。
両肘を弛緩状態でゆるやかに曲げながら前につきだす。両手拳は帯よりも低くならない。
基本移動稽古や蹴武の型等の日本 拳道動作前の構え。

2) 鬪姿七龍 (トウシシチリュウ) の構え

第1龍 虎龍 (コリュウ、Koryuu)

画像

解説 左手拳を顔面の中心 (鼻と人中を防御) から拳二つ程あけてつきだす。
右手拳の先端を右のこめかみよりもやや下の位置におくことで右側面を防御する。
古来、アジアで最強を意味していた龍と虎にJTAもあやかりたいと思い命名した。
蹴武の型・義家の構え。

第2龍 双龍 (ソウリュウ、Souryuu)

画像

解説 左手刀の甲側を左目のラインにおき、手のひら側を相手に向ける。
その際、左肘を内側にしぼることで左肩のラインからはみでないようする。
右手刀の甲側を右目のラインにおくが、右目の視界を遮らないよう指先先端を右目よりも下におく。
その際、右肘を右肩のラインからはみでないように右脇を固める。
左手刀と右手刀の間は肩幅。左の手首つけねと右の指先先端を平行にする。
左右の手刀を二匹の龍とみなし命名した。
蹴武の型・清衡の構え。

第3龍 天龍 (テンリュウ、Tenryuu)

画像

解説 左手刀の手のひら側を相手に向けながら、
左右の視界を遮らないよう左手首つけねを眉間から拳三つ程離れた位置におく。
その際、左肘を内側にしぼって左胸のラインにおく。

右手刀の甲側を相手にむけながら下段におろし、急所ラインにおく。

上段の左手刀と下段の右手刀とが縦に平行になるように調整する。

下段と上段に構えている左右の手刀を地から天にのぼる龍とみなし命名した。

J T Aの「フルコンタクト・テコンドー」は、「フルコンタクト・カラテ」を参考にしているが、その元祖たる極真空手創始者・大山倍達翁の得意とする構えを参考修正している。

蹴武の型・謙信の構え。

第 4 龍 飛龍 (ヒリュウ、Hiryuu)

画像

解説 左手刀の手のひら側を相手に向けながらのばし、
左手首つけねを左目ラインにおくべく肘をゆるやかに曲げる。
その際、左肩と左肘を平行にし、あえて左脇に隙をつくり、その部位への相手の攻撃を誘う。
右手拳をみぞおちにおくことで、防御をしながらも瞬時に突きをはなてるようにする。
ゆるやかにのびる左手刀および腕を空を飛ぶ龍とみなし命名した。
蹴武の型・武蔵の構え。

第 5 龍 小龍 (ショウリュウ、Syouryuu)

画像

解説 左手刀の甲側を相手に向けながら下げ、左胴体側面を防御する。
その際、左肘をやや内側に曲げ、左手刀で急所を防御する。
右の手刀の手のひら側を相手に向けるながら、上段右側面におく。
その際、指先尖端を右のこめかみよりもやや下の位置におくことで右側面を防御する。
テコンドーを学び華麗な蹴りを修得することで世界に羽ばたいた李小龙 (ブルース・リー) に
J T Aもあやかりたいと思い、彼の得意とした構えを参考修正して命名した。
蹴武の型・龍馬の構え。

第 6 龍 起龍 (キリュウ、Kiryuu)

画像

解説 左手刀 (もしくは手拳) の手のひら側 (もしくは握り側) を相手に向けながら左肘を直角にし、
左肘を左胸のラインにおき左肩のラインに左手首のつけねをあわせることで顔面を防御する。
右手刀 (もしくは手拳) の手のひら側 (もしくは握り側) を天に向けながら水平にしみぞおちを防御。
手刀起龍と手拳起龍がある。
J T Aは、テコンドーの創始者・崔ホンヒ翁が創立した I T F から分離派生した新しい武道である。
I T F の特徴は 2 4 の型にあるが、それに頻繁に登場する基本動作がテビマッキ (対比受け) である。
実戦のみならず蹴りの武道 = 蹴武を重視する J T A の生立ちを明確にするため、
I T F が重視する型のシンボリック手技であるテビマッキを J T A オリジナルの蹴武の型にも採用し、
起龍と命名した次第である。
蹴武の型・青淵の構え。

第 7 龍 伏龍 (フクリュウ、Fukuryuu)

画像

解説 両手拳を両肘をやや曲げながら帯よりも下におろし、肩幅以上にひろげる。
下段におかれた手拳を地に伏している龍とみなして命名した。
蹴武の型・南洲の構え。

注意 解説は右利きを基準にしている。

4、創始者が創造した日本跆拳道の独自の移動稽古は次の通りである。

- | | |
|---------------|----|
| 1) 蹴美壁蹴り | 動画 |
| 2) 蹴美基本移動稽古 | 動画 |
| 3) 蹴美応用移動稽古 | 動画 |
| 4) 組手攻撃技術と蹴り技 | |

5、創始者が創造した日本跆拳道の独自の組手攻撃技術は次の通りである。

- | | |
|------------|----|
| ① 段差攻撃 | 動画 |
| ② 異種ベクトル攻撃 | 動画 |

6、創始者が改良した日本跆拳道の蹴り技は次の通りである。

- | | |
|----------|----|
| ① スライド蹴り | 動画 |
| ② 鈍角捻り蹴り | 動画 |
| ③ 押し蹴り | 動画 |

7、創始者が改良した日本跆拳道の組手防御技術と防御技は次の通りである。

- | | |
|------------------|----|
| 1) 組手防御技術 | |
| ① かわし防御 | 動画 |
| ② 身体防御 | 動画 |
| 2) 防御技 | |
| ① 手拳 (シュケン) 下段払い | 動画 |

②手拳外受け	動画
③手拳内受け	動画
④手拳上段受け	動画
⑤手拳楯受け	動画
⑥手拳下ろし受け	動画
⑦手刀下ろし受け	動画
⑧両手拳下段十字受け	動画
⑨両手拳上段十字受け	動画

三、日本跆拳道のグッズ

古今東西、強い軍隊が美しい軍腹にこだわるのは、有事の際、勇敢に戦うことを決意し、死を意識しているからである。

武道は武士（現代の職業軍人）の嗜みであったことは史実であり、武道家たる者は、平和な現代でもなお戦士の覚悟は模範とすべきである。

日本跆拳道の修業の際、美しい道衣を着ることで、武士の精神美を思い起こし、かつ涵養すべきである。

創始者がデザインした日本跆拳道のグッズは次のとおりである。

1) J T A 黒帯道衣

写真

2) J T A 色帯道衣

写真

3) J T A 協会旗

写真

4) 新 J T A 協会旗（蹴美・蹴武・フルコンタクトテコンドー）

写真

写真

5) J T A マーク

写真

6) 新JTAマーク (蹴美・蹴武・フルコンタクトテコンドー)

写真

7) 第13回～第29回迄の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 ポスター

8) 第13回～第29回迄の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 パンフレット